McAfee Server Security Suite Essentials

物理環境、仮想環境、クラウド環境のサーバーを保護する基本的なセキュリティ

この2、3年、データセンターのストレージ、サーバー、ネットワーク、アプリケーションに大きな変化が起きています。多くのデータセンターがクラウド コンピューティングの導入を開始し、この環境を保護する新たな方法が求められています。組織のIT部門とセキュリティ担当者は、ビジネスの敏捷性とコスト効率を維持するため、物理環境、仮想環境とクラウドを統合管理できるセキュリティを構築する必要があります。これらの課題を解決するのがIntel® SecurityのMcAfee® Server Security Suite Essentialsです。このソリューションには基本的なセキュリティ コンポーネントが統合され、サーバーの保護だけでなく、クラウド上のワークロードを検出し、セキュリティをクラウドに展開します。

主な特長

- すべての物理サーバーと仮想サーバーを検出し、単一のコンソールで管理できます。クラウド環境のサーバーも管理できます。
- McAfee MOVE AntiVirusにより、最適化された仮想化セキュリティを実現します。
- McAfee Data Center Connector for VMware vSphere、Amazon Web Services、OpenStack、Microsoft Azureにより、プライベート クラウドとパブリック クラウドにあるすべての仮想マシンのセキュリティを確認できます。

すべてのワークロードを検出

すべてのワークロードを検出して適切なセキュリティ ポリシーを適用することは簡単なことではありません。弊社のソリューションを利用すると、スキャン レポートで未保護のエンドポイントを検出し、セキュリティ状況を確認できるので、管理作業の負担が軽減されます。McAfee Server Security Suite Essentialsは、McAfee ePolicy Orchestrator®（McAfee ePO™）との統合により、プライベート クラウドとパブリック クラウド上のすべての物理サーバーと仮想サーバーを検出します。また、McAfee Data Center Connector for VMware vSphere、Amazon Web Services、OpenStack、Microsoft Azureが用意されています。これにより、オンプレミスとクラウドの仮想マシンを監視し、適切なポリシーを適用してセキュリティ状況を管理できます。また、OSのメモリー保護、仮想マシンを実行中のホスト、仮想マシンが存在するクラウド/データセンターを確認することもできます。

サーバーの保護

McAfee Server Security Suite Essentialsには、NSS Labsが実施したゼロデイ エクスプロイトと検出回避技術の性能評価[1]で最高の評価を得たMcAfee VirusScan® Enterpriseが統合されています。従来のマルウェア対策だけでなく、仮想環境に特化したソリューションも用意されています。McAfee Management for Optimized Virtual Environments (MOVE) AntiVirusは、仮想環境用に最適化されたウイルス対策で、大規模で変化の激しい環境でもパフォーマンスに影響を及ぼすことはありません。また、主要なハイパーバイザーをすべてサポートしています。McAfee MOVE AntiVirusはエージェントレスで機能するので、VMware環境だけでなく、KVM、Microsoft Hyper-V、VMware、Xenベースのハイパーバイザー環境にも配備できます。

ウイルス対策は重要なセキュリティ対策ですが、高度な脅威を阻止するには別の保護対策も必要になります。このソリューションには、侵入を試みる複合型の脅威を阻止し、ビジネスを保護するMcAfee Host Intrusion Preventionも統合されています。

クラウドへの展開

クラウドに移行すると、新しいワークロードに適切なセキュリティ ポリシーを適用するのが非常に難しくなります。弊社のソリューションを使用すると、プライベート クラウドとパブリック クラウド上で実行中の仮想マシンと停止している仮想マシンを自動的に検出できます。McAfee ePOでパブリック クラウド アカウントを登録すると、適切なセキュリティ ポリシーで仮想マシンが自動的に保護されます。また、マカフィーのデータセンター セキュリティのダッシュボードでは、プライベート クラウドとパブリック クラウドのセキュリティ状況を確認し、インシデントに対応できます。

サーバーとビジネスの最適化

仮想化とクラウド コンピューティングが持つ様々な可能性を実現するには、これらの環境を適切に保護しなければなりません。マカフィーが提供するサーバー セキュリティ ソリューションは企業の成長を妨げません。マカフィーのソリューションは、柔軟性を維持しながら物理環境、仮想環境、クラウド環境のサーバーを保護します。McAfee Server Security Suite Essentialsは、物理、仮想、クラウド環境のサーバーを保護する基本的な機能を提供します。

McAfee Server Security Suite Essentialsの詳細については、次のサイトをご覧ください。

http://www.mcafee.com/jp/products/server-security-suite-essentials.aspx

機能	利点
単一コンソールでの管理	• 物理サーバーと仮想サーバーを1つのウィンドウで管理できます。プライベート クラウドとパブリック クラウドも同時に管理できるので、セキュリティの可視性が強化されます。 • 操作が簡単になるため、管理作業の時間を短縮し、負荷を軽減できます。 • 必要なサーバー フットプリントが小さくなるため、ハードウェアのコストを抑えることができます。
コア サーバーの保護	• 物理サーバーに対してNSS Labsが実施したゼロデイ エクスプロイトと検出回避技術の性能評価で最高の評価を得ています。 • Host Intrusion Preventionが、侵入を試みる複合型脅威を阻止し、ビジネスを保護します。
仮想化のセキュリティ	• 仮想インフラのセキュリティを最適化します。パフォーマンスやリソース利用に影響を及ぼすことはありません。 • データセンターの複数のハイパーバイザーに対応しています。すべてのハイパーバイザーのセキュリティ状況を確認できます。 • VMware環境にエージェントレスで配備されるので、VMのパフォーマンスを向上します。
プライベート クラウドとパブリック クラウド上にある仮想マシンの完全な可視性	• 物理サーバーだけでなく、VMware vSphere、Amazon AWS、OpenStack、Microsoft Azure環境のハイパーバイザーと仮想マシンも検出できます。保護が必要な対象をすべて把握できます。 • プロビジョニングが完了した仮想マシンを検出すると、セキュリティ ポリシーを自動的に適用して保護するため、適切なセキュリティ状態を維持できます。

1. NSS Labs, Inc.による保護対策テスト(2013年)

McAfee. Part of Intel Security.
マカフィー株式会社
東京本社　〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂 1- 12- 1 渋谷マークシティウェスト 20F
TEL 03-5428-1100（代）FAX 03-5428-1480
西日本支店　〒530- 0003 大阪府大阪市北区堂島 2-2-2 近鉄堂島ビル 18F
TEL 06-6344-1511（代）FAX 06-6344-1517
名古屋営業所　〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅 4-6-17 名古屋ビルディング 13F
TEL 052-551-6233（代）FAX 052-551-6236
福岡営業所　〒810- 0801 福岡県福岡市博多区中洲 5-3-8 アクア博多 5F
TEL 092-287-9674（代）
www.intelsecurity.com

Intel、Intelのロゴ、McAfeeのロゴ、ePolicy Orchestrator、McAfee ePO、VirusScanは、米国法人Intel CorporationまたはMcAfee, Inc.もしくは米国またはその他の国の関係会社における商標です。その他すべての登録商標および商標はそれぞれの所有者に帰属します。Copyright © 2016 Intel Corporation.
62336ds_sss-essentials_0316